

趣旨・目的

令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、子どもたちの質の高い文化芸術活動の機会を地域で整備・充実するため、文化部活動の地域への移行の課題について検討を行う有識者会議を設置する。

概要

検討委員

- | | | |
|----------|--------|------------------------|
| ○ 学識経験者 | 北山 敦康 | 静岡大学名誉教授 |
| | 齊藤 忠彦 | 信州大学教授 |
| | 大坪 圭輔 | 武蔵野美術大学教授 |
| ○ 学校関係者 | 富士道 正尋 | 全日本中学校長会事務局次長 |
| | 金田 淳 | 日本PTA全国協議会専務理事 |
| | 村田 かおり | 兵庫県教育委員会義務教育課長 |
| | 吉田 学 | 富山県教育委員会生涯学習・文化財室長 |
| ○ 学校文化連盟 | 野口 由美子 | 全国中学校文化連盟理事長 |
| | 熊谷 拓也 | 全国高等学校文化連盟事務局長 |
| ○ 文化団体 | 石津谷 治法 | 一般社団法人全日本吹奏楽連盟理事長 |
| | 長谷川 冴子 | 一般社団法人全日本合唱連盟理事長 |
| ○ 実践団体 | 齊藤 勇 | NPO法人日本地域部活動文化部推進本部理事長 |

検討事項

- ・地域における受け皿の整備・連携について
 - ・活動時間等の在り方について
 - ・指導者の養成、質・量の確保について
 - ・施設の確保方策について
 - ・費用負担の在り方について
 - ・大会・コンクール等の在り方について
- 等

今後の流れ

上記検討委員の下、モデル事業の成果と課題を踏まえながら、7月目途に検討事項についてのとりまとめを行う。（令和4年2月16日に第1回を開催）

検討状況

第1回～3回の議題

- ・文化庁活動の目的・目標について
- ・地域における新たな文化芸術に親しむ環境の構築について
- ・休日の部活動の段階的な地域移行等の具体的な取組実例について
- ・学習指導要領を含む関連諸制度等の在り方について 等

休日の文化庁の地域移行の取組状況と課題

- ・ NPO法人による吹奏楽、合唱など様々な活動を生徒が行える環境の整備を進めている自治体、運動部と連携してのコミュニティークラブの設立などの取組を行っている自治体がある。
- ・ 地域の人材バンクの活用や地域の吹奏楽連盟、交響楽団のジュニアオーケストラ等と連携し外部指導者を確保して、専門的な指導が行われている。
- ・ 吹奏楽部では楽器の運搬もあり、活動場所が学校となることも多く施設管理の問題なども生じているが、代行員や地域ボランティアの活用など解決のための工夫も見られる。
- ・ 地域に指導できる外部指導者が十分にいない場合、ICTを活用した遠隔地の外部指導者による個別指導も併用するなどの工夫も行われている。
- ・ 人形浄瑠璃など地域の実態に応じた伝統芸能に関する取組も行われている。
(課題)
- ・ 現在、行われている文化庁活動の質を確保するには、地域における文化活動の受皿となる団体の整備や指導者となる人材の確保がまだ十分ではない。
- ・ 顧問の教師が兼職兼業により地域の外部指導者として指導することが可能となっているが、場所が学校で行われる場合には、学校以外の主体が行っているということが十分に理解されていない。
- ・ 保護者の費用負担が増える場合、理解を求める必要があるとともに、国、地方自治体による予算措置や制度の整備なども必要となる。

今後の検討事項

- ・地域における文化団体等の整備充実
- ・文化活動指導者の質・量の確保
- ・地域における文化施設の確保方策
- ・大会の在り方
- ・地域における文化活動の会費の在り方
- ・休日の文化庁活動の地域移行の達成時期のめど 等